



西川町のまち自慢 1位:人柄 2位:月山 3位:水、山菜・きのこ

月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガッツさん」

NETWORK

にしかわ

2021

令和3年

1月号

No.778



主な内容

- P2 | 町長あいさつ
- P4 | 年男・年女インタビュー
- P6 | 月山スノーランドオープン

心に響く師走の鉦の音

まちづくりテーマ・合言葉 キラリ☆月山 健康 元気にしかわ!

3つの町民運動 ①みんなが主役運動 ②まち自慢運動 ③現役延長運動

新年の「あこわし」



西川町長 小川一博

明けましておめでとうございます。輝かしい令和3年の新春にあたりまして、町民の皆さんのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年をふり返りますと、全世界での新型コロナウイルス感染症の拡大や、7月の豪雨災害など大きな災難に見舞われた年でありました。

1月に新型コロナウイルス

の感染者が国内で初めて確認され、2月には横浜港に寄港した豪華客船ダイヤモンド・プリンセスの船内で集団感染が発生して以来、国内でも徐々に感染が広がり、3月にはWHO(世界保健機関)が新型コロナウイルス感染症のパンデミック(世界的大流行)を宣言、3月末には県内初の感染者が確認されました。

コロナと共存する社会に 対応してゆく年

4月には「緊急事態宣言」が全国に出され、約2カ月間にわたって多くの経済活動が停止、縮小されたことで、町民の皆さんの生活や町内経済にも大きな影響を与えました。

本町では、家計への支援を目的に国民一律10万円を給付した特別定額給付金について町民の皆さんへの迅速な給付に努めたほか、これまで6回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら、マスクやアルコール消毒液などの資器材の整備や商品券の交付など様々な感染予防、町民の皆さんの生活および経済支援を行ってまいりました。

そのような中、東京2020オリンピック・パラリンピックが1年延期となり、本町が県内のスタート地点となっていた聖火リレーも残念ながら延期となりました。新型コロナウイルス感染症は、その後も第2波、第3波と感染規模を拡大しながら続いており、一刻も早くワクチンが世界の隅々まで行きわたり感染の収束が望まれる状況にあります。

一方、7月には、大きな被害をもたらした平成25年7月の

豪雨を上回る雨量に見舞われ、県道および町道の20カ所以上が一時通行止めとなり5カ所の集落が孤立、倒木により3世帯が停電し、大井沢地区には避難準備情報を発令、その他の町内全域には自主避難を呼びかけました。町内7カ所の避難所に最大54人の方が一時的に避難されたところがあります。

被害の状況については、3軒の住宅が床下浸水し、土砂崩れにより1軒が家屋損傷の被害を受けました。また、現在までのところ、道路90カ所、河川16カ所、林業用施設167カ所、農地・農業用施設144カ所、合計で11億1,600万円の被害を確認し、町民の皆さんのご協力をいただきながら復旧にあたっているところがあります。

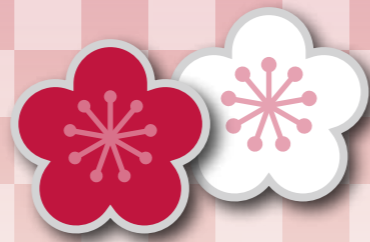
令和2年7月豪雨災害は、町政施行以来もっとも大きな災害となり、国の激甚災害に指定されましたが、けが人などの人的被害はありませんでした。これも、町民の皆さんの高い防災意識に加え、各自自主防災組織および消防団の日頃の成果であります。

さて、今年は、昨年延期となりました東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、県内の聖火リレーが本町からスタートする予定となっております。大会では、日本選手の活躍とともに本町がホストタウンとなっているモルドバ共和国のカヌー選手活躍が多いに期待される場所があります。

町では、新型コロナウイルス感染症および令和2年7月豪雨災害復旧の対応をはじめ、町民の皆さんと地域が元気で魅力で溢れる「キラリ☆月山健康 元氣 にしかわ!」の実現を目指し、コロナと共存していく新しい社会に向けて町民の皆さんとの対話を大切にしながらいきいきと暮らすことができる町を実現するために、定住人口の維持確保と関係人口の拡大、将来にわたり持続可能な財政運営などについて、データ分析に基づく現状把握をしっかりと行っただえで、スピード感をもって取り組んでまいります。

結びに、町政推進のためになお一層のご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げます。

今年は丑年! 年男・年女インタビュー



平成21年生まれ



佐藤 聖さん (横岫)

昨年は新型コロナウイルスのためバレーボールの大会が中止になったことが残念でした。目標である県大会出場のため、早くチームのみんなと練習を再開したいです。

また、昨年は雪が少なくてできなかったスキーも、今年は大会での入賞を目指して頑張りたいです。

4月からは6年生になるので、新しく西川小学校の仲間になる1年生に、学校の良いところをたくさん教えてあげたいと思います。

菅野一成さん (間沢)

昨年は新型コロナウイルスから始まり、豪雨による災害など大変なことが重なった1年でした。日常生活でも感染予防など様々な制限があり、健康や当たり前に行生活できることのありがたさを改めて感じたところです。

今年は会社の事務所も新しくなるので、心機一転、仕事を頑張っていきたいと思います。また、旅行や趣味の釣りなどにも気兼ねなく出かけられるよう、早く当たり前の生活に戻れることを願いますね。

昭和48年生まれ



土田美海さん (睦合)

昨年は大学を卒業し社会人1年目で、仕事を覚えるだけであっという間に1年が過ぎてしまいました。毎日が新しい挑戦で、生活に慣れるだけで精一杯でしたが、窓口業務の際、お客様に笑顔で「ありがとう」と言っていたことが励みになりました。

今年はお客様や職場の先輩から頼りにしてもらえるように頑張りたいと思います。また、自分の時間を作って趣味なども楽しめるようになりたいですね。

平成9年生まれ



昭和36年生まれ



佐藤浩美さん (大井沢)

昨年は新型コロナウイルスが終息しないまま1年が過ぎてしまいました。県外に暮らす孫と会うことができず淋しく思っていたのですが、学校行事などの際、町内の元気な子どもたちの様子を見ることができて嬉しかったです。

今年コロナが終息し、平和な世の中になることを願っています。また、年女なので何か新しいことに挑戦したいとも思っています。丑のようにマイペースで頑張りたいですね。

昭和60年生まれ



日塔直樹さん (海味)

昨年は新型コロナウイルスで様々な行事が中止となり寂しく感じました。中学3年生の息子は部活動最後の大会が中止となり、本当に残念でした。

そのような中でしたが、家族と一緒に過ごす時間が増えたことは嬉しく感じています。

今年も子どもたちとしっかり向き合う時間を大切にしていきたいです。また、健康も気になる年齢なので自分の体調にも気を配っていききたいですね。

青山悦子さん (吉川)

若い頃は気にすることがありませんでしたが、だんだんと老いを感じる年頃になってきました。その中で、俳句や読書、畑仕事など生活の楽しみや張り合いとなるのが大切に思えるようになってきました。

紙芝居もその中の一つですが、昨年は文化祭など発表する場がなくなってしまい残念でした。今年も町の歴史や人物などをテーマに、地域に誇りをもってもらえるような紙芝居作りに取り組んでいきたいですね。

昭和24年生まれ



月山スノーランドで楽しめるアクティビティ



チュービング

専用コースで子どもから大人まで楽しめます。Tバーリフトも設置され登りも楽々。



バナナボート

スノーモービルでバナナボートやチューブを牽引。広い雪原でスリルと迫力を楽しもう。



フリーライド

圧雪したコースでソリ滑りを自由に楽しめます。新雪コースでは雪板も体験できます。

月山スノーランド概要

営業日: 4月上旬までの土・日・祝日

※積雪状況などで変更の場合あり

営業時間

午前の部: 10:00~12:00 (受付9:30)

午後の部: 13:00~15:00 (受付12:30)

受付場所: 弓張平公園パークプラザ

入場料: 予約: 500円 (当日: 1,000円)

体験チケット (Tバーリフト、バナナボート)

大人: 半日: 予約: 2,500円 (当日: 3,000円)

1日: 予約: 3,500円 (当日: 4,000円)

小学生: 半日: 予約: 2,000円 (当日: 2,500円)

1日: 予約: 3,000円 (当日: 3,500円)



雪上車クルーズ

8人乗り雪上車に乗って雪原を遊覧しながら、絶景スポットを巡りましょう。(要予約)



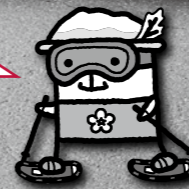
スノーシューツアー

スノーシュー(西洋かんじき)で新雪を踏みしめながら、月山山麓の自然を体験。(要予約)

月山の冬を楽しもう!



月山スノーランドの詳細・予約はこちらから!



日本一の雪を活かして冬の西川に賑わいを

多くの方の協力があり、ついに月山スノーランドをオープンすることができました。

これまで冬の月山山麓を訪れる方はバックカントリースキーやスノーシューなどを楽しむ方が中心でした。月山スノーランドには子どもから大人まで幅広い年代の方が楽しめるアクティビティが盛りだくさんなので、より多くの方から日本一を誇る月山の豪雪に親しんでいただきたいと思います。

今後も冬の西川町により多くのお客様を呼び込めるよう、たくさんの冬の楽しさを提供していきたいと考えています。



月山冬の誘客推進協議会
会長 今野和久さん

ターネットなど情報通信の広がりやグローバル化で非日常的な自然体験やスポーツ体験への関心が高まっています。実際に月山志津温泉雪旅籠の灯りやスノーシューパークには、県内外から多くの方が、冬の西川町に何度も足を運んでいます。

そのようなことを受け、町では雪のない地域や外国の方などの誘客を目指し、日本有数の積雪深を誇る月山の雪を広くPRし、観光資源として活用を図っていくため「日本一の月山雪国宣言」を行いました。

雪の利活用を観光戦略の要として、これまで開催されてきた「月山志津温泉雪旅籠の灯り」や「スノーシューパーク」、「キャットスキーツアー」などと月山スノーランドが連携することで、さらなる誘客拡大が期待できます。

将来的には月山から弓張平、月山湖までを含めたエリアを「月山アドベンチャーパーク」として、年間を通じて体験プログラムなどを提供する、現代ニーズにこたえる観光地として整備を進めていく計画です。



月山スノーランドがオープン

12月12日、弓張平公園パークプラザで月山スノーランドのオープンニングセレモニーが開かれました。

セレモニーには運営を行う月山冬の誘客推進協議会や公園の管理者である県、町などの関係者約50人が出席。くす玉を割って、新たな冬の観光のスタートを賑やかに祝いました。

様々な雪の楽しさを提供

弓張平は豊富な雪に恵まれ、広々とした雪原や傾斜があるなど、雪遊びを楽しむのに適した条件が揃っています。この恵まれた立地条件を活かし、雪上車や簡易リフトなどを整備することで様々なアクティビティを体験できるようにしたのが月山スノーランドです。

冬の観光へ高まる期待

近年、旅行者の観光地に求めるニーズは多様化しています。その中でも、イン

月山スノーランド OPEN!

町では一昨年の12月、日本一の積雪深を誇る月山の雪を観光資源として活用し、「雪の利活用日本一」としたブランド確立を目指して、「日本一の月山雪国宣言」を行いました。そしてこの冬、雪と触れ合い、親しみ遊べる場として、新たに「月山スノーランド」がオープンしました。

あっぱれ！ 祝！100歳

く どう ひ さ
工藤 ひさ さん

大正9年11月13日生まれ・綱取



11月13日、工藤ひささん（綱取）がめでたく100歳を迎えられました。12月14日、小川町長が工藤さんのお宅を訪問し、100歳を祝う賀詞とお祝い金を手渡しました。

町長から賀詞を受け取ったひささんは「100歳を迎えることができたのも家族のおかげ。本当にありがとうございます」と、感謝を伝えていました。

ひささんは若い頃、行商に出て家族を支えたこともあったそうで「町内のいろんな方にお世話になりました」と懐かしげに話してくれました。

長寿の秘訣を尋ねると、好き嫌いをせずに何でも食べるように心がけているのだそう。元気に100歳を迎え、ひささんは「100歳まで長生きできるとは思っていませんでした。丈夫で、笑って暮らせることが一番の幸せです」と笑顔で話してくれました。



2020年版 西川町の人のおごき

<p>○出生 18人 (前年15人)</p>	<p>○婚姻 5組 (前年12組)</p>	<p>○転入 50人(前年93人) ○転出 121人(前年147人)</p>	<p>○死亡 118人 (前年97人)</p>
<p>○小学校児童数 176人(前年194人) ○中学校生徒数 134人(前年133人)</p>	<p>○0歳～19歳 615人 (前年 646人)</p>	<p>○20歳～59歳 1,787人 (前年 1,869人)</p>	<p>○60歳～ 2,681人 (前年 2,736人)</p>

※2020年1月1日～12月23日現在

町の施策をズームアップ 西川町を元気な町に!! 町が展開する事業あれこれ



～事業の紹介やその進ちょく状況について お伝えします～

第73回

◆前年比30パーセント増！
そばまつりのオールシーズン開催検討

担当課／商工観光課

コロナ禍・厳しい町内経済
新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に消費の激減傾向が続いています。町内の商工観光業においても例外ではなく、4月から11月末までの売上の前年比は、宿泊業で54・9%、小売業で約75%、そして飲食業で約55%（観光関連の飲食業では約45%）となっており、町外のお客様を主な対象とする事業者の方々には依然として厳しい状況が続いています。

前年比30%増、その要因
そんな中、月山山菜そばは対前年比30%の売上増。12月15日に開催された月山山菜そば組合全体会では、播種期やその後における雨の影響で、そばの生育が危ぶまれた中であって、生産者の方々と玉谷製麺所の絶大なる協力をいただき、新そばが確保できたことや、睦合地内の高速道路高架橋下への看板設置、仙台圏域100万人にSNSによる情報発信を行ったこと、特にターゲットを絞ったこと、



告を出したことやテレビで放送されることがその要因として列挙されました。

アンケート結果も高評価
また、ご来町いただき、山菜そばを食べていただいた方々のアンケートには、「新そばの香りがして、山菜もいっぱい入っていて、どこにもない味だと思います。とても美味しかった」「そばも汁にマッチしていて、幸福感でいっぱいになりました」などの感想をいただきました。また「そばと汁が別なのは初めて食べました」「このような山菜そばはどこにもあり



ませるので、今後とも続けてください」などの応援のメッセージもいただきました。組合員の方々も「コロナ禍にありながらも、感染防止対策の徹底は大変であったが、電話での問い合わせは今までなく多かつたし、大変評判も良かった」と総括。

春と秋を柱に更に拡大
次年度は、これまで以上にそば生産者の方々と玉谷製麺所と連携を密に、新しいアイデアも取り入れながら、このキャンペーンを春の山菜が旬の時期からスタートさせ、秋に繋げる取り組みにより、



シーズンを通した誘客拡大によって西川の「食」をさらに拡大していくことが確認されました。そばと山菜ときのこは西川町を代表する特産品です。この3つの特産品を一緒に食すことができる「西川の「食」..月山山菜そば」この「食」により町外からの流れを呼び込むことで、そば組合や飲食店から他産業への波及効果（総合産業化）を目指していきたいものです。

お問い合わせ
商工観光課
☎0237・74・4119

あいべ玄関ホールに心癒す花

木村睦子さんが生け花の展示

交流センターあいべ玄関ホールに、西川町芸術文化協会の会員でもある木村睦子さん（海味）が生け花の展示を行なってくれています。

今年には新型コロナウイルスの影響で文化祭などが中止となり、ホールへの展示物も少なくなっていたところ、木村さんから展示の申し出をいただき、毎週花の生け替えを行なっていただいています。

木村さんは「訪れた方が花を見て、季節感や癒しなどを感じてくれたら嬉しいです」と話してくれました。



木村睦子さん

交流センターを訪れた際は、ぜひご覧ください。



積雪十分、スキーシーズン到来

町民スキー場安全祈願祭



安全祈願祭の様子

12月18日、西川町民スキー場の安全祈願祭が行われ、リフトを運行する月山観光開発（株）の社員や地権者、町などの関係者がシーズン中の無事故を祈りました。今シーズンは3月20日までの営業を予定しています。



保育の理念：子どもに愛と生きる力を

- 保育目標**
- 雪のようにきらきら輝く子
 - 緑のようにやさしくあったかい子
 - 太陽の様につよくたくましい子

大切にしていること

- ★しっかりと見つめること
- ★ぎゅっとハグすること
- ★自分の興味を満喫させてあそぶこと

- ★思いっきりカラダを動かすこと
- ★大人みんなで精一杯愛すること
- ★大人も育つこと

保育園コーナー

練習の成果を發揮！ ぶなのもり発表会は大成功

12月19日、にしかわ保育園の一大イベント、ぶなのもり発表会を行いました。

今年には新型コロナウイルス感染防止のため、クラス毎の入れ替え制で開催し、観覧者の人数も制限させていただきました。本当であれば、たくさんの方に子どもたちの成長を見ていただきたかったのですが、ご理解いただきありがとうございます。

当日、子どもたちはお家の方を前に練習を重ねた歌や踊りを精一杯披露しました。

かぜ組（3歳児）は合奏と劇を発表し、可愛らしい姿に会場全体がほっこりとした雰囲気になりました。

たいよう組（4歳児）はぶなのもり紅白歌合戦と題して、元気な歌と踊りを披露し、会場は大盛り上がりとなりました。

そら組（5歳児）はセリフに加えて歌や踊りも取り入れた、ミュージカル風の劇を披露。最後は歌とボディパーカッションで締め、さすが年長さんという発表でした。



かぜ組の発表

熟練の技が光る縁起物の門松

町シルバー人材センターから門松

12月21日、西川町シルバー人材センターから役場や交流センターあいべ、町立病院など町内7施設に、新年の玄関を華やかに彩る門松を寄贈していただきました。

門松は各施設からの仕事を受注していることへの感謝の思いとして製作したものです。同センターに登録する会員の皆さんが松や竹、梅、ナンテン、ユズリハなどの縁起物と、高橋春二さん（吉川）から提供していただいた啓翁桜を熟練の手つきで組み上げて、立派な門松を完成させ、各施設に届けました。



立派な門松をありがとうございます

投票所の雰囲気を感じ投票

西川中学校生徒会役員選挙

12月3日、西川中学校の生徒会役員選挙で、生徒たちが実際の選挙で使われる記載台や投票箱を使い投票を体験しました。

これは若者に選挙への関心を持ってもらうと行われたもので、投票に先立ち町選挙管理委員会委員長の古澤準一さんが「実際の選挙の雰囲気を感じ、自分の思いを託す一票の大切さを感じてください」と生徒に呼び掛けました。

各立候補者の演説の後、信任投票が行われ、学校のリーダーを選ぶための一票を真剣な表情で投じていました。



緊張した様子で投票



たいよう組の発表



そら組の発表

冬の西川から一足早い桜の便り

12月15日、令和2年度啓翁桜出発式が吉川地内の啓翁桜促成施設で開かれました。

式には啓翁桜の生産者やJAさがえ西村山、さがえ西村山花き振興協会、町などの関係者17人が出席。出荷を告げるホラ貝の音が高らかに響いた後、神事が行われ、出席者が出荷作業の安全と販売拡大などを願いました。

式ではJAさがえ西村山組合長の安孫子常哉さんが「コロナ禍の暗いムードが漂う中でも、多くの方の心を癒やす、素晴らしい桜を出荷しましょう」とあいさつ。小川町長は「産地づくりと併せて後継者の育成にも努



め、町を代表する冬の特産品として大切に育てていきましよう」と呼び掛けました。

啓翁桜は年末年始に需要が高まるため、年内出荷に向けて11月15日から枝の切り出し作業を開始しました。消費者の手元で開花するよう温度管理などの促成作業を行なった後、市場などに向けて出荷されます。

今年度、寒河江・西村山管内では約43万本の出荷が計画されており、そのうち西川町からは約30万本を出荷する予定です。京浜市場や特販課ギフトを中心に出荷され、国内需要が落ち込む2月頃にはアジアを中心とした輸出も行われます。



今月の表紙

12月6日の夜、本道寺、月岡横岬地区で、口之宮湯殿山神社の伝統行事である「鉦勸進」が行われました。

鉦勸進は同神社で12月8日に行われていた年越祭の前触れとして始まり、その歴史は300年以上とされています。2人1組となった叩き手が、鉦を叩きながら地区内の各家庭を回り、住民の皆さんは新年の幸せを願う鉦の音に聞き入っていました。



編集雑記

明けましておめでとございます。

今年は丑年ですね。牛は農耕作業や物資運搬の労働力として古くから人間にとって身近な動物であり、その勤勉に働く姿が「誠実」を象徴するそうです。

牛を見習い、先を急がず、目の前に誠実に向き合う1年になしたいと思います。(阿部)

お詫びと訂正：12月号の11ページ「町職員の給与」で、退職手当一人当たりの平均支給額を19,401万円と記載しましたが、正しくは1,940万円でした。お詫びして訂正いたします。

西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<http://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。



12/23 現在の人口と世帯数 人口 男2,459人 女 2,624人 計5,083人 世帯数 1,834 ()は前月比
(-8) (-2) (-10) (-2)

